

第10回西陣・千両ヶ辻文化検定試験（初級問題）

◇西陣・千両ヶ辻の概論について答えなさい。

- (1) 千両ヶ辻伝統文化祭は今年も、()に位置する薬師町・北之御門町・石薬師町の三町内とその周辺で開催する。()に入れる最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。(ア)堀川通 (イ) 智恵光院通 (ウ) 大宮通今出川上ル (エ) 大宮通今出川下ル
- (2) 地域を表す千両ヶ辻及び西陣の呼び名について最も適当なものを(ア)～(ウ)から選びなさい。(ア) 現在は忘れられた呼び名になっている。
(イ) 現在この地域名は一般に使われているが、固有名詞は別として公式な住所標記には使われていない。(ウ) 現在も公式な住所標記に使われている。

◇歴史及び謂われ等、千両ヶ辻について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

- (3) 西陣織の中心地として江戸時代から栄えて来た千両ヶ辻の地名の由来は何か。
(ア) この地で一日千両に値する、主に生糸並びに織物を商ったことから。
(イ) この地は両替商(金融業)中心の町であったから。
(ウ) 江戸時代この地を掘ると千両箱が出て来たから。
- (4) この地はいつの時代から一般に千両ヶ辻と呼ばれたか。
(ア) 江戸時代、元禄(1688～1703)の頃である。
(イ) 江戸時代中期以降、文化文政(1804～1829)の頃である。
(ウ) 江戸時代末期、嘉永安政から明治初期(1848～1875)の頃である。
- (5) 「一昨年2017年は西陣と称されて550年」江戸時代より現代まで千両ヶ辻には()を中心に織物問屋並びに両替商(銀行)が営んでいる。
(ア)織屋[織物メーカー] (イ)糸染業 (ウ)生糸問屋 (エ)金糸屋[金銀糸を扱う糸屋]
- (6) 千両ヶ辻にある町家は京都の代表的な町家と同じく、うなぎの寝床と云われる間口が狭く奥行きが深い家が多い。この地域の町家の格子はどの様な種類が多いか。
(ア) 糸屋格子 (イ) 茶屋格子 (ウ) 米屋格子 (エ) 炭屋格子
- (7) (8) 千両ヶ辻より南東へ約400mの地点に平安時代下級貴族の三善清行の葬列が一条大橋に差掛かった時、息子の浄蔵の祈りが通じ蘇生したことから一条戻り橋の名の起源とされている。諸説が存在する中、橋に拘わる事項を(ア)～(エ)から二つ選びなさい。
(ア) 秀吉時代朝鮮出兵の軍勢や明治期以降の戦役、先の戦争(大東亜戦争)時、出征兵士は武運長久を祈って橋を渡った。(イ)安土桃山時代～江戸時代初期、戻り橋は現在の中立売橋であった。
(ウ)現在もこの橋を渡ることを忌み嫌う嫁入り道中 (エ)言伝えを嫌い地域の人々は、この橋を渡らない

◇(平安時代編)最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻東、一条戻り橋たもとに位置する(9)は我が国の陰陽道の祖・安倍晴明公を御祭神としてお祀りし星型の五芒星の紋を神紋とされている。秀吉時代この地で自刃した千宗易(利休)邸があった。加えてフィギュア・金メダリスト(10)の演技に映画「陰陽師」のサウンドトラックが使用され近年パワースポットとして若者等に人気を集めている。

(9) (ア) 晴明神社 (イ) 建勲神社 (ウ) 水火天満宮 (エ) 玄武神社

(10) (ア) 宇野昌磨 (イ) 荒川静香 (ウ) 羽生結弦 (エ) 高橋大輔

千両ヶ辻西北、糸屋八町域内の桜井町(知恵光院通り今出川上ル西側)にお宮がある。平安時代末期この地に(11)の屋敷があったとも伝承されている。源九朗判官義経(牛若丸)が、奥州藤原氏を頼り平泉に赴くに際し、道中の安全をこの地の(12)に祈願して出立したと云われている。(11) (ア) 藤原秀衡 (イ) 桜井基佐 (ウ) 武蔵坊弁慶 (エ) 金売吉次

(12) (ア) 還来神社 (イ) 三宅八幡宮の末社 (ウ) 石清水八幡宮の末社 (エ) 首途八幡宮

◇(室町時代編) 西陣の起源について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

一昨年2017年は京の都を焦土と化した**応仁文明の乱勃発550年**。東西両軍が入り乱れて戦い両陣営とも地方から続々と兵力を上洛させた。勃発の頃西軍の陣地は現在の堀川通五辻西入ル (13) 邸跡辺りで「**西陣**」と云う地名の起源である。(14) という名称は、西軍の本陣跡が由来である。諸説あるが、細川勝元を大将とする東軍は小川より相国寺に掛けての地域を「**東陣**」とした。

- (13) (ア) 山名宗全 (イ) 畠山義就 (ウ) 六角高頼 (エ) 斯波義廉
- (14) (ア) 博多織 (イ) 桐生織 (ウ) 西陣織 (エ) 丹後ちりめん

◇(安土桃山時代編)最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

千両ヶ辻の東北(今出川通堀川東入ル飛鳥井町・公家・飛鳥井家の跡地)に崇徳上皇を祭神とする白峯神宮がある。飛鳥井家は伝統の (15) の宗家であり洛中洛外図屏風. 上杉本にもその様子が描かれている。境内には (15) の神である精大明神が祀られスポーツ関係 (16) の守護神とされている。今年ラグビーW杯の勝利を祈念する人々で賑わっている。

- (15) (ア) 剣術 (イ) 弓術 (ウ) 流鏑馬(やぶさめ) (エ) 蹴鞠(けまり)
- (16) (ア) フェンシング (イ) アーチェリー (ウ) 馬術 (エ) 球技全般

昨今の刀剣ブーム。当神宮の北東周辺に徳川家康時代以前、琳派の祖である本阿弥光悦等一族の京屋敷があった。その家筋は元々代々(17)であった。

- (17) (ア) 陶芸家 (イ) 刀剣鑑定家 (ウ) 書家 (エ) 絵師

千両ヶ辻と呼ばれ始められた時代の約200余年前、千両ヶ辻の(18)方向に「大河ドラマ真田丸」の舞台ともなった (19) が存在した。関白太政大臣の位についた (20) が造営し、五層の天守を持った城は「聚楽城」とも呼ばれ天正15年(1587)に完成した。天正19年(1591)秀吉は甥の (21) を関白に就任させ、その城を譲ったが、謀反の廉で文禄4年(1595)(21) を自刃に追いやると (19) もことごとく破却した。平成28年京大防災研究所による画期的な聚楽第域跡の地盤. 表面波探査が行われ未発見の外堀等輪郭が新たに判明し、千両ヶ辻域には外堀が存在した模様である。(18) (ア) 南 (イ) 南西 (ウ) 西 (エ) 南東

- (19) (ア) 二条城 (イ) 聚楽第 (ウ) 花の御所 (エ) 公家屋敷
- (20) (ア) 豊臣秀吉 (イ) 豊臣秀長 (ウ) 徳川家康 (エ) 足利義昭
- (21) (ア) 豊臣秀頼 (イ) 小早川秀秋 (ウ) 豊臣秀勝 (エ) 豊臣秀次

天正18年(1590)頃京都にとって後世に残る大面期となった時期であった。豊臣秀吉による都市改造は寺町通りや千両ヶ辻の北の方に位置する東西の通りの(22)に寺院が集められ『寺まち』として新設された。同時代新設されたという千両ヶ辻を東西に横切る(23)の名の由来は、(23)の東のドンツキ辺りに存在し種々の洛中洛外図屏風に描かれていた誓願寺である。町家の移転、武家町建設も行われ都の中心に(24)別名惣構の完成なども加わり応仁文明の乱後の荒野が残る洛中を聚楽第城下町(洛中惣構)として基本的な都市改造が完成し現在の京都の街の礎となった。

- (22) (ア) 盧山寺通り (イ) 寺之内通り (ウ) 五辻通り (エ) 今出川通り
- (23) (ア) 今出川通り (イ) 中筋通り (ウ) 元誓願寺通り (エ) 笹屋町通り
- (24) (ア) 御土居 (イ) 高瀬川の開削 (ウ) 公認の茶店、上七軒の確立

千両ヶ辻近くに位置した聚楽第の堀を囲む一帯には諸侯諸大名等の屋敷が立ち並び現在でも多くの町名に名残りを留め、名前の一部に関係事項を町名としている。一条通大宮東入ルの如水町には(25)、東堀川通一条下ルの主計町には後年熊本城主となった(26)、千両ヶ辻の真南側の栄町(旧阿波殿町)には修理大夫阿波守・蜂須賀正勝の屋敷があったと微かに伝承され、その地の南側の落込みの地域(一条通の北側域)は聚楽第の(27)であった。

- (25) (ア) 《築城の名手》藤堂高虎 (イ) 《軍師》黒田官兵衛・孝高
(ウ) 《豊臣政権五奉行》浅野長政 (エ) 《豊臣政権五奉行. 京都所司代》前田玄以
- (26) (ア) 《主計頭》加藤清正 (イ) 《甲斐守》黒田長政
(ウ) 《摂津守(キシタン大名)》小西行長 (エ) 《権中納言(独眼竜)》伊達政宗
- (27) (ア) 本丸 (イ) 北之丸 (ウ) 石田三成屋敷 (エ) 徳川家康屋敷

◇幕末～明治時代について最も適当なものを（ア）～（キ）から選びなさい。

一昨年2017年は大政奉還150年に当たります。江戸幕府最後の将軍、徳川（ 28 ）千両ヶ辻より1.3Km南に位置する二条城において大政奉還をおこなった。それより3年前、風雲急を告げる元治元年(1864)禁門の変が勃発。嵯峨、天竜寺を陣地とする来島又兵衛等の長州軍は千両ヶ辻の南方面を進軍し京都御所の中立売御門付近で会津・薩摩・幕府連合軍と最初に激突したと云われ、その戦いは別名（ 29 ）と云われている。これに抛る大火は（ 30 ）と呼ばれていた。火の手は堀川で止まり千両ヶ辻は被害を免れた。

- (28) (ア)綱吉 (イ)吉宗 (ウ)家茂 (エ)慶喜
(29) (ア)桜田門外の変 (イ)蛤御門の変 (ウ)戊辰戦争 (エ)西南の役
(30) (ア)どんぐり焼け (イ)西陣焼け (ウ)どんだん焼け(鉄砲焼け) (エ)油小路焼け

千両ヶ辻近く京都御所の北側に西郷隆盛、大久保利通、小松帯刀の旧邸に近く坂本龍馬にも所縁の二本松薩摩藩邸があった。その旧地は近衛邸に近く、現在（ 31 ）である。近年慶応2年(1866)薩長密約に至った地は近衛別邸・御花畑屋敷(室町通鞍馬口下ル)説が急浮上している。密約のおり長州の代表は（ 32 ）であり、仲介人は土佐の（ 33 ）である。密約以降、薩摩藩邸には一時期1000名ほどの兵が駐屯したともいわれている。鳥羽・伏見の戦いにおいて洋学者で会津藩士の（ 34 ）は蹴上で捉えられ当藩邸に軟禁されたが、その後洋学者としての才覚を薩摩藩に示すことになり、明治4年(1871)には京都府に登用された。顧問格として京都府の近代化に深く関わり、京都の近代化に大きく寄与した。京都府会議長、京都商工会議所会長を歴任し（ 35 ）創立にも大いに協力した。

- (31) (ア)京都御苑 (イ)冷泉家 (ウ)同志社女子大学 (エ)同志社大学今出川キャンパス
(32) (ア)大村益次郎 (イ)桂小五郎 (ウ)伊藤博文 (エ)井上馨
(33) (ア)坂本龍馬 (イ)中岡慎太郎 (ウ)後藤象二郎 (エ)武市半平太
(34) (ア)山川健次郎 (イ)川崎尚之助 (ウ)佐々木只三郎 (エ)山本覚馬
(35) (ア)立命館大学 (イ)同志社大学 (ウ)龍谷大学 (エ)京都帝国大学

◇教育一般及び大学について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

昨年2018年は明治150年、本年2019年は上京区140周年です。京都は明治維新による人口急減、都市機能衰退の危機に直面し、まっ先に私達の先人が着手したのが、小学校の創設である。「まちづくりは人づくりから」と明治2年(1869)に番組(町の区分)ごとに64の（ 36 ）が創設された。沿革に依ると現在千両ヶ辻にある西陣中央小学校は旧第十一（ 36 ）=桃菌小学校であった。(36) (ア)番組小学校 (イ)寺子屋小学校 (ウ)尋常小学校 (エ)府立小学校

千両ヶ辻近く東に位置し1875年創立の同志社大学がある。創立者（ 37 ）の協力者として、山本覚馬は現在の同大学の今出川校地の敷地を譲り、同志社英学校の創立に大いに協力した。創立に協力した山本覚馬の妹で（ 37 ）の夫人（ 38 ）は、女子塾・同志社女学校の開設、教育に尽力した。千両ヶ辻より東西半径2kmに位置する衣笠校地と旧広小路校地を有していた、立命館大学(前身は京都法政学校)は大阪の財閥である広岡浅子等の援助を受け1900年に創立。創立者中川小十郎、学祖は大正昭和の最後の元老であった（ 39 ）である。

- (37) (ア)徳富蘇峰 (イ)新島襄 (ウ)榎村正直
(38) (ア)津田梅子 (イ)下田歌子 (ウ)新島八重(山本八重) (エ)大山捨松
(39) (ア)西園寺公望 (イ)松方正義 (ウ)伊藤博文

◇ 明治の近代化について最も適当なものを (ア) ~ (エ) から選びなさい。

《西陣織編》新政府設立後京都では東京への遷都がもたらした疲弊状況を打破するために、工業を中心に勧奨するための中央政府の殖産興業政策の中、京都府には先駆的な勸業場が設けられた。近代的な産業振興の旗頭として西陣織にスポットが当てられ(40)という、理化学工業研究所を府は設立し大いに西陣の発展に寄与した。明治5年~14年に掛けて西陣の技術者の〔佐倉常七・井上伊兵衛・吉田忠七(新織法習得)〕〔伊達彌助・早川忠七(織物研究)、中村喜一郎(染法研究)〕〔近藤徳太郎(織物)・今西直次郎(製糸撚糸)・稲畑勝太郎(染色)〕、〔三田忠兵衛・高松長四郎(染色)〕は、新技術習得のため(41)へ留学及び視察に向けて派遣された。習得した新技術は後年西陣及び国内繊維産業発展に大いに寄与した。

(40) (ア) 理学校 (イ) 舎密局(せいみきょく) (ウ) 開成所 (エ) 勸業館

(41) (ア) 西欧諸国 (イ) 東欧諸国 (ウ) 米国 (エ) 中国

西陣織産地は(42)を生産する産地である。

(42) (ア) 白生地織物 (イ) 後染め織物 (ウ) 先染め織物

※現在の生産品目は、帯地・着尺・ネクタイ・金襴・ショールマフラー・室内装飾織物である。

《琵琶湖疏水発電所編》近代化を推進するため明治18年(1885)疏水工事を開始、明治23年(1890)に疏水工事完成。利用目的として灌漑、水力利用、舟運がある中、明治24年(1891)日本で最初の発電所が完成、明治28年(1895)日本で最初の路面電車の原動力になった。その後西陣地区にも織物工場の点灯のため堀川通中立売辺りに配電設備が設置され、明治後半から大正にかけて(43)の原動力になっていった。千両ヶ辻の南の玄間口には昭和36年迄運行されていた明治45年全線開通のチンチン電車・北野線の「大宮中立売」と云う電停があった。西行きは北野天満宮が終点で東行きは(44)が終点であった。現在その電停は市バスの同名のバス停になっている。

(43) (ア) 手織機 (イ) 空引き機 (ウ) 力織機 (エ) つづれ機

(44) (ア) 二条城前 (イ) 四条堀川 (ウ) 七条西洞院 (エ) 京都駅

◇ 芸術・文化について最も適当なものを (ア) ~ (オ) から選びなさい。

千両ヶ辻から1km東北及び東に位置する茶道の三千家があり、武者小路通小川東入ルには武者小路千家(茶室官休庵)がある。一昨年電柱の地中化が完成、美しい外観を呈する小川通寺之内上ル辺りには表千家(茶室不審庵)、その北側には裏千家があり重要文化財の茶室(45)がある。現在の表千家家元は十五代千宗左(猶有斎)である。

(45) (ア) 燕庵 (イ) 如庵 (ウ) 待庵 (エ) 密庵 (オ) 今日庵

千両ヶ辻やその周辺出身の芸術家達が多く存在する。古くは狩野永徳初め狩野派の絵師達、琳派の担い手である尾形光琳・乾山兄弟、明治期渡欧し大正昭和期活躍した千両ヶ辻(横大宮町)生まれの油彩画家太田喜二郎。今年京都府立文化博物館及び目黒美術館において太田喜二郎展が催された。加えて明治期渡欧し活躍した油彩画家・日本画家・インテリアデザイナー澤部清五郎の存在も忘れてはならない。多くの洛中の町家のスケッチ画を残した千両ヶ辻(北之御門町)生まれの水彩画家三田村宗二、町家が失われて行く昨今、作品は貴重な記憶資料となっている。若手の箔画家野口琢郎の台頭は大いに楽しみである。とりわけ当伝統文化祭の顧問であり域内に町家写真館を運営する千両ヶ辻生まれの京都を代表する写真家(46)の存在は輝きを放っている。

(46) (ア) 浅野喜市 (イ) 水野克比古 (ウ) 岩合光昭 (エ) 中川邦昭

◇千両ヶ辻地区の祭礼について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

平安期. 正暦5年(994)船岡山で民衆主導により御霊会が行われ、これが西陣地区全域(千両ヶ辻)の氏神様である（ 47 ）の祭礼の起源と伝わっている。広大な氏神域は上京区～北区をまたぎ、八坂神社の氏神域に匹敵する程である。現在5月5日に神幸祭、5月15日に近い日曜日に（ 48 ）が実施されている。応仁文明の乱により中断その後室町幕府の支援もあるものの織田信長による上京焼打ち等、歴史的に幾多の災難を乗り越え、そして豊臣秀吉に依る保護、特筆すべきは将軍（ 49 ）の生母、桂昌院(お玉の方)に依る手厚い保護により隆盛を極めた。現在今後の祭礼の隆盛に期待が高まっている。

- (47) (ア) 今宮神社 (イ) 北野天満宮 (ウ) 上御霊神社 (エ) 八坂神社
(48) (ア) やすらい祭り (イ) 今宮祭湯たて祭 (ウ) 今宮祭還幸祭 (エ) 夏越祓
(49) (ア) 徳川秀忠 (イ) 徳川家光 (ウ) 徳川綱吉 (エ) 徳川吉宗

◇ユネスコ世界文化遺産について最も適当なものを（ア）～（ク）から選びなさい。

2019年に大阪府の「百舌鳥、古市古墳群」が登録され、加えて無形文化遺産として京都の和食業界の力強い努力もあり「和食：日本人の伝統的食文化」が2013年登録された。千両ヶ辻界限に在る和食文化を追求する有名料亭を一つ選びなさい。(50) [正答は四つあり。]

- (ア) 京料理萬重 (イ) 木乃婦 (ウ) 京料理魚新 (エ) 美濃吉
(オ) 天喜 (カ) 菊乃井 (キ) 萬亀楼 (ク) 瓢亭

【出題者 仲 治實 (大文字屋治實) 2019.9】